

平成27年 第4回臨時会報告

学校統合事業費

7,779万8千円削除し再提案！

平成27年第4回臨時会が、6月30日午前10時から開催されました。

先の6月定例会では、学校統合事業費など1億7,045万円を追加する補正予算案が提案されましたが、賛成少数で否決されたため、今回学校統合事業費7,779万8千円を削除して、再度提案が行われた結果、平成27年一般会計補正予算案など4議案を原案のとおり可決しました。

今回付議された事件は、下記のとおりです。

- 平成27年度 和水町一般会計補正予算（第3号）
- 平成27年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算（第1号）
- 平成27年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第1号）
- 平成27年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第1号）

平成27年における和水町議会の学校統合事業関係議案審議等の経過

- 3月定例会（3月20日） 菊水区域4小学校統合事業費1億6,900万円を削除する修正案可決。
- 町議会全員協議会（6月1日） 学校統合事業の建築工事費用を5億7千万円に大幅圧縮する新たな改修計画案を発表。（工事期間中の仮設校舎を設置せず、共同調理場新築を見送り、プールは既存施設を利用するという新たな計画案）
- 6月定例会（6月19日） 菊水区域学校統合事業関連の条例案と同関連費を含む平成27年度一般会計補正予算案が賛成少数で否決。
- 臨時会（6月30日） 学校統合事業費を削除した平成27年度一般会計補正予算案等4議案を原案のとおり賛成多数で可決。

平成27年度 一般会計補正予算

平成27年
6月
定例議会
報告

1億7,045万円

賛成少数で否決！

平成27年6月定例会が6月12日から19日までの8日間の会期で開催されました。

今回の定例会には、町長提出の平成27年度一般会計補正予算を含む補正予算案5件と条例の一部改正案5件が提案されましたが、その中の菊水区域の学校統合事業関連の条例案と同関連費を含む平成27年度一般会計補正予算案が賛成少数で否決されました。

否決された議案は、学校統合計画案の設計委託料を含む1億7,045万円を追加する補正予算案と和水町立学校設置条例の一部を改正する条例案の2議案となっていますが、執行部は、一般会計からの繰り入れ金を歳入の一部とする国民健康保険事業会計・介護保険事業会計・特別養護老人ホーム事業会計の3つの特別会計の補正予算案を撤回しました。

陳情等については12件が審査され、採択（『城北製絲(株)工場跡地内に記念碑建立用の土地を取得し、記念碑を建立することについて』）他5件と継続審査（『合併特別債の適用期間の再延長を求めることについて』）1件、配布（『菊水区域学校統合に関する要望書』）他4件となっています。

なお、学校統合事業に絡み、福原秀治町長に対する辞職勧告決議案が、3月定例会に続き提出され、賛成多数で可決されました。

平成27年度一般会計・特別会計補正予算

採決結果

会 計 名	減額・追加	歳入歳出予算総額	採決結果
一般会計	1億7,045万円追加	64億4,736万6千円	否 決
国民健康保険事業会計	373万7千円追加	18億228万円	議案撤回
介護保険事業会計	547万2千円減額	15億9,602万1千円	議案撤回
特別養護老人ホーム事業会計	742万円追加	4億8,277万4千円	議案撤回
和水町立病院事業会計	46万5千円追加	9億8,763万9千円	可 決

陳情等の審査結果

こうなりました！皆さんからの請願・陳情

受付番号	受付年月日	件名	審査結果	付託委員会
538	平成27年3月27日	労働法制・賃金・道州制等に関する要請		配布
539	平成27年3月27日	労働法制の規制強化と安定雇用の確立を求める意見書の提出に関する陳情		配布
28	平成27年4月20日	農業委員への女性の登用に関する要望書	採 択	建設経済 常任委員会
67	平成27年5月19日	ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書の採択を求める陳情書	採 択	総務文教 常任委員会
85	平成27年6月1日	青少年健全育成基本法の制定を求める意見書の提出に関する請願	採 択	総務文教 常任委員会
107	平成27年6月8日	労働法制の規制強化と安定雇用の確立を求める意見書の提出に関する陳情		配布
108	平成27年6月8日	「集団的自衛権」行使を具体化する「安全保障法案」に反対することを求める陳情書		配布
117	平成27年6月11日	陳情「城北製絲（株）工場跡地内に記念碑建立用の土地を取得し、記念碑を建立することについて」	採 択	総務文教 常任委員会
119	平成27年6月11日	菊水区域学校統合に関する要望書		配布

【継続審査分】

受付番号	受付年月日	件名	審査結果	付託委員会
346	平成26年11月18日	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	採 択	厚生 常任委員会
347	平成26年11月18日	介護従事者の処遇改善を求める陳情書	採 択	厚生 常任委員会
480	平成27年3月2日	合併特例債の適用期間の再延長を求めることについて（お願い）	継続審査	総務文教 常任委員会

6月議会議案審議

採決結果

条 例： 5件
補正予算： 5件
そ の 他： 2件
計 12件

町長提出議案一覧

議案番号	議 案 名	審議採決の結果
議案第40号	和水町消防団条例の一部改正について	原案可決
議案第41号	和水町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について	〃
議案第42号	和水町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部改正について	〃
議案第43号	和水町介護保険条例の一部改正について	〃
議案第44号	和水町立学校設置条例の一部改正について	原案否決
議案第45号	平成27年度 和水町一般会計補正予算（第2号）	〃
議案第46号	平成27年度和水町国民健康保険事業会計補正予算（第1号）	撤回
議案第47号	平成27年度和水町介護保険事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第48号	平成27年度和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第49号	平成27年度国民健康保険和水町立病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決
同意第 8 号	和水町固定資産評価員の選任について	原案同意
報告第 2 号	平成26年度株式会社菊水ロマン館の決算報告について	報告

議員提出議案一覧

そ の 他：15件

議案番号	議 案 名	審議採決の結果
	和水町町長の辞職勧告決議	原案可決
	農業委員の推薦について	原案決定
	ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書の採択を求める陳情書	採 択
	青少年健全育成基本法の制定を求める意見書の提出に関する請願	〃
	陳情「城北製絲（株）工場跡地内に記念碑建立用の土地を取得し、記念碑を建立することについて」	〃
	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	〃
	介護従事者の処遇改善を求める陳情書	〃
	農業委員への女性の登用に関する要望書	〃
	閉会中の継続審査について	原案決定
	閉会中の継続調査について（各委員会）	〃
	議員派遣について	〃
発議第3号	ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書の提出について	原案可決
発議第4号	青少年健全育成基本法の制定を求める意見書の提出について	〃
発議第5号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書の提出について	〃
発議第6号	介護従事者の処遇改善を求める意見書の提出について	〃



提案が独善的な考え方に陥っている町長の学校統合事業。
町長 二転三転と言われるが、むしろ七転八倒の末の提案。

問 菊水地区小中学校統廃合工事の全体計画像並びに財源捻出の根拠について伺う。

答 (学校統合推進室長) 菊水中央小では既存校舎の改修、不足教室の増築(軽量鉄骨)、体育館改修、菊水中では既存校舎、体育館の改修計画。小中学校のプールや共同調理場は既存施設をそのまま活用計画。経過年数も経っており近い将来整備が必要となる。また、校舎改修においても床面の木質化等が入っていないので教育環境の質的向上面から検討の必要があると思う。これまで説明してきた整備内容について必要なものは(A案・B案)関係者などと調整しながら整備する必要がある。



学校統廃合どう進める。
町長 統合できる校舎を造り上げたい。

問 3月定例会において町長提案の設計委託料が事実上否決された。今後統廃合をどう進められるつもりか。

答 (町長) 現在火葬場整備計画策定業務を業者委託(入札済)をしている。新築、改修等の費用、また運営方法等、基本計画の成果品が、27年12月末までに出てくる予定。その後、連絡協議会において協議検討し、判断していくことになる。

問 平成29年4月開校も一つの公約と思うが、タイムリミット等どう考えておられるか。

答 (町長) 実施設計業務に要する期間、建築工事に要する期間等考えると、遅くとも本年8月前には、基本設計業務への取り組みが必要である。

問 せきすい斎苑・和水斎場の統

問 板楠交差点の定時信号機設置については、区長会からの要望もあっていると思うがどう対応されているか。
答 (総務課長) 24年10月要望書が上がっている。24年11月玉名警察署長に要望書。26年9月に再度要望書提出。時期をみて町長とも話し要望を続けてまいりたい。



自衛隊員や若者を戦場に送ってはならない。
町長 青年を海外に送ることのないように国会での議論を慎重にやっていただきたい。

問 いわゆる戦争法案の国会論戦では世界のあらゆるところで集団

的自衛権の行使で自衛隊がアメリカと一緒に戦うという法案の狙いが明らかになり憲法学者、青年団協議会、日本弁護士連合会、自民党の元幹部、元自衛隊員等多くの国民から批判の声が上がっている。若者を戦場に送ってはなりません

が法案に対する町長見解を。

問 3月議会を受けて、6月1日の全員協議会で菊水区域小中学校施設改修について改修計画案の説明があつたが、整備計画とA案、B案との違いについて伺う。

答 (学校統合推進室長) 中央小学校校舎等はA案、B案は床の全面木質等が入っているが、改修計画案は入っていない。不足する教室の増築等はA案、B案は鉄筋コンクリート造で改修計画案は軽量鉄骨造の計画。体育館は3案とも吊り天井の改修。プールはA案が改修、B案が改築、改修計画案は当面既存のプールを活用する。仮設校舎はB案が設置でA案と改修計画案は設置しない。



町総合グラウンドの整備計画は！
町長 複合スポーツ施設として蘇らせたい！

問 町総合グラウンドの今後の整備計画について伺う。

答 (町長) 町民の皆様の理解を得る事が出来るなら、複合スポーツ施設として蘇らせ、学校施設外のスポーツ振興のため教育施設の一環として、その才能の開花を期待し、多くのスポーツ交流人口を集めることの可能性もあり、よりハイレベルな切磋琢磨により子どもたちの大きな飛躍が期待でき、もちろん町民の皆様にも交流の場、憩いの場として、ご利用いただく施設にし、埋め立て造成した用地を大切な社会資源として活用したい。

問 町の体育館の利用状況について伺う。

答 (社会教育課長) 県等のスポーツ大会、学校関係のスポーツ大会等利用が増えているので、2つの体育館の利用者は伸びている状況。

問 体育館等の設備、改修について伺う。

答 (町長) 体育館等の設備の故障対応の遅延等お詫び申し上げ、これらの施設については、維持管理面での配慮とともに、改善の余地についても留意をいたし、多くの町民の皆様にご快適にご利用いただくよう、留意を欠かすことのないよう周知をしていく。



**この町で
1番仕事をしている車は？**
町長 軽トラックじゃないかと
思う。

問 菊水区域の学校統廃合において、平成29年4月開校が遅れるとすれば、どのような場合が想定されるか。

答 (町長) 和水町立学校設置条例の一部改正の承認と、基本施設設計業務委託料等の予算の承認が得られない場合。

あるいは、生山議員の代替え案、29年4月、何としてもやらせていただきたい。

問 基幹産業である農林業を再生させ、地域内で経済を循環させるような町独自の施策を打ち出す必要があると思うが。

答 (町長) 町民一人一人が主となるような、事業に取り組む意欲を喚起し、お手伝いをしなければならぬと考える。

問 中央小での4小統合が、29年4月開校に間に合わない判断された場合、速やかに方針を転換され西小と東小、中央小と南小の2校ずつの統合に切り替えて、何としても29年4月開校という子どもたちとの約束を果たしていただけないか。

答 (町長) できれば今回の中央小の統合を承認いただきたい。

問 軽トラ所有率日本一を目指して、“軽トラ購入補助金制度”の実施を考えてみては？

答 (町長) 十分検討してまいりたい。



**空き屋対策特別措置法が
全面施行されたが…。**
町長 対応できる体制の構築を進めていく。

■空き家対策について

問 空き家対策の特別措置法が全面施行されたが、和水町における施行対策について伺う。

答 (町長) 景観、衛生、防災への影響や住民の生命財産の保護及び、活用の促進に向け対応できる体制の構築を進めていく。

問 危険家屋等については所有者や管理者に対してどのような対応をするのか伺う。

答 (町長) 空き家等対策の推進に関する特別措置法をもとに条例の制定も必要と考える。

問 和水町では現在、空き家と思える家屋は何軒あるのか。また、空き家バンク登録制度は活用されているのか。

答 (まちづくり推進課長) 平成

24年度の空き家調査では、273戸、現在はまだ増えている。空き

家バンク制度の活用により、購入及び賃貸を70名近く希望されている。

■子育て支援について

問 放課後子ども教室の実態と今後の取り組み及び課題等について伺う。

答 (町長) 子どもたちの、安心、安全を確保するため関係課及び、地域の方々と連携し推進していく。

問 学童保育の実態と今後の取り組みについて伺う。また、社会福祉協議会に学童保育を委託したらどうか。

答 (町長) 町内の4カ所の保育園で実施している。菊水地区においては定員30名に対し46名の申し込みがあり16名が利用できていない。多方面の方々と協議しながら、事業開始に向け鋭意進めている。



**福原町長の
出処進退について問う！**
町長 自らの出処進退は、
今この時点では考えていない。

問 町長辞職勧告決議は、議会全体の統一した意思決定であり、町長不信任議決に相当するものだが、町長はこの表決をどのように受け止めているのか。

答 (町長) 私に対する辞職勧告決議は、本意とするところでない。

問 この1年間の過程・経過の中で、学校統合問題に対する町民や保護者・先生・区長さん方の意識に変化が見られるが、町長は自ら町民に信を問う考えはないか。

答 (町長) 統合に向かって邁進させていたきたい。

問 ここまで混乱してきた原因は、

現在の膠着状態を正すためには、今こそ町長の決断が求められると思うが。

答 (町長) 自らの出処進退は、今この時点では考えていない。

問 耐震改修計画で、町長部局と教育委員会部局との整合性はとれているのか。

答 (町長) 一生懸命説明してき

たつもりである。



**協議会参加は
一端白紙に戻しては？**
町長 意味は理解出来る。

問 玉名地域医療体制づくり検討協議会参加に当り今後の医療福祉サービス提供を構築するか、町立病院の現状分析(医療専門の調査機関等依頼)医療関係者の意向、町民、議会のニーズをつかみ将来予測を立て、町としての医療のあり方をまとめた上で参画すべき。

答 (町長) 「白紙」意味は理解出来る、協議会との兼ね合いもある。今後常任委員会、協議会等の打ち合せ事項とさせて頂きたい。

問 今回提案された学校統合事業、新改修案(事業費6億9千万円)は、学校関係者・PTA・住民への事業説明も全くな(議会6月1・12日の全協で概要説明)補正予算7700万円の提案は、住民無視、また、学校統合推進委員会はB案で答申を無視、何の為に委員会答申か理解出来ない。

答 (町長) 順序が逆になることには大変申し訳ないと思うが議会の承認を得てからの説明の方が良いと思った。また、今回の提案は統合してスタートさせるという案である。

問 耐震改修計画で、町長部局と教育委員会部局との整合性はとれているのか。

答 (町長) 一生懸命説明してき



**菊水地区小中学校統合
どうなるか。**

町長 複式学級の解消を目指す。

問 菊水地区小中学校統合事業の今後の方針とこの一連をどう思われるか。また、番城の造成費は総合計では。

答 番城校舎建設が安全安心、環境面、その他あるが最良の建設と思うが町長の考えは。

問 昨年7月より説明会を開き、基本構想案を提示し委託料等を提案したが否認された。今後も校舎改修を行い複式学級の解消を目指す。

答 (町長) 中央小学校への統合改修と中学校の改修でいく。また、番城グラウンドについては運動公園化を目指してやっていきたい。

答 (建設課長) 平成26年までの費用は7億9千116万8千円。27年度以降は8千400万で合計8億6千368万2千円となる。



小中学校建設予算は。

町長提案 3月、21億円
6月、5億7千万円

教育委員会 3月、21億円
6月、21億円

問 町長としての公約はどれだけの成果があったか。

答 (町長) 1年を経て推進中のものが多い。トップセールス実現できていない。分譲住宅地の開発、ボーリングを行ったが、近隣の調整が必要で、今後の課題である。保育料、給食費負担軽減については、検討中。固定資産税、各種社会保険料の期間限定引き下げ、これは大変申し訳ない。

答 (町長) プール、給食棟を省いた提案となっている。

問 教育委員会との話し合いはあったのか。

答 (町長) 5月27日説明した。教育委員会としては、前回提案の21億円で安心安全な学校を作ってもらいたいと要望があった。

問 町長辞職勧告の受け止め方について、公約違反。

答 (町長) 指摘の件よくわかった。それでもあえてやらせていたきたい。

問 菊水区域小中学校建設改修について、公約5億円から21億円、今回5億7千万円との提案をどのように感じるか。未来を見据えての計画なのか21億円の提案から5億7千万円の提案は、町長公約



学童保育の不平等解消を！

町長 早急に進めていきたい。

問 学童保育は、日中保護者の方々が家庭に居ない小学生児童、つまり学童に対して授業終了後に適切な遊び場や生活の場を与え、児童の健全な育成を図る事を目的とし、児童の安全を守る場でもある。子どもが卒園し、小学校に入学後も保護者の方々が安心して、就労、介護、病氣治療等を継続する上で、必要不可欠な制度であると考え。和水町に於いて、学童保育数46名は、国等からの補助金対象として優遇されており、しかし、超過者16名は、何の優遇措置も受けていない現状である。

答 (町長) 早く人の確保に努め、早急に進めて参りたい。

提 案

町営学習塾をその沿線に置き学童保育を考えれば、4園で対応できない児童、学童は学習塾の方で受け入れるのでは。

既に、2カ月過ぎていて、超過者に対しての取り組みが遅いのではないか。



町民負担は増えるのでは？

町長 無駄にならないように使う。

問 町長が間違った住民運動をさねなければ、間違いなく27年4月には子どもたちは入っていた。(番城グラウンド学校建設新築の場合) その責任は感じているか何う。

答 (町長) 大きな金額をかけて、教育は大切であるが、生産性がないとは言わないが、人材を育成することは生産性だけでも、財政上で生産性の無い建物、箱物に巨額をつぎ込むと、将来財政を圧迫すると考えていた。

問 番城グラウンドに何を作って、何が町民の為になるのか、年間の維持が幾ら掛るのか、投資額が幾らなのか何う。

答 (町長) 構想としては有るが、見積もりの段階では無い。

答 (町長) 番城グラウンド、グラウンド周辺を活用し、無駄にならないように使う。

問 町長になられて21億(菊水地区耐震改修費)を提示(3月定例会において)され、その時は8億(実質町負担)で、番城グラウンドに今年度まで10億8千万、既存



**菊水地区小中学校統合
どうなるか。**

町長 複式学級の解消を目指す。

問 菊水地区小中学校統合事業の今後の方針とこの一連をどう思われるか。また、番城の造成費は総合計では。

答 番城校舎建設が安全安心、環境面、その他あるが最良の建設と思うが町長の考えは。

問 昨年7月より説明会を開き、基本構想案を提示し委託料等を提案したが否認された。今後も校舎改修を行い複式学級の解消を目指す。

答 (町長) 中央小学校への統合改修と中学校の改修でいく。また、番城グラウンドについては運動公園化を目指してやっていきたい。

答 (建設課長) 平成26年までの費用は7億9千116万8千円。27年度以降は8千400万で合計8億6千368万2千円となる。



小中学校建設予算は。

町長提案 3月、21億円
6月、5億7千万円

教育委員会 3月、21億円
6月、21億円

問 町長としての公約はどれだけの成果があったか。

答 (町長) 1年を経て推進中のものが多い。トップセールス実現できていない。分譲住宅地の開発、ボーリングを行ったが、近隣の調整が必要で、今後の課題である。保育料、給食費負担軽減については、検討中。固定資産税、各種社会保険料の期間限定引き下げ、これは大変申し訳ない。

問 5億円をつじつま合わせと思われる。

答 (町長) プール、給食棟を省いた提案となっている。

問 教育委員会との話し合いはあったのか。

答 (町長) 5月27日説明した。教育委員会としては、前回提案の21億円で安心安全な学校を作ってもらいたいと要望があった。

問 町長辞職勧告の受け止め方について、公約違反。

答 (町長) 指摘の件よくわかった。それでもあえてやらせていたきたい。

問 菊水区域小中学校建設改修について、公約5億円から21億円、今回5億7千万円との提案をどのように感じるか。未来を見据えての計画なのか21億円の提案から5億7千万円の提案は、町長公約



学童保育の不平等解消を！

町長 早急に進めていきたい。

問 学童保育は、日中保護者の方々が家庭に居ない小学生児童、つまり学童に対して授業終了後に適切な遊び場や生活の場を与え、児童の健全な育成を図る事を目的とし、児童の安全を守る場でもある。子どもが卒園し、小学校に入学後も保護者の方々が安心して、就労、介護、病氣治療等を継続する上で、必要不可欠な制度であると考え。和水町に於いて、学童保育数46名は、国等からの補助金対象として優遇されており、しかし、超過者16名は、何の優遇措置も受けていない現状である。

答 (町長) 早く人の確保に努め、早急に進めて参りたい。

提 案

町営学習塾をその沿線に置き学童保育を考えれば、4園で対応できない児童、学童は学習塾の方で受け入れるのでは。

既に、2カ月過ぎていて、超過者に対しての取り組みが遅いのではないか。



町民負担は増えるのでは？

町長 無駄にならないように使う。

問 町長が間違った住民運動をさねなければ、間違いなく27年4月には子どもたちは入っていた。(番城グラウンド学校建設新築の場合) その責任は感じているか何う。

答 (町長) 大きな金額をかけて、教育は大切であるが、生産性がないとは言わないが、人材を育成することは生産性だけでも、財政上で生産性の無い建物、箱物に巨額をつぎ込むと、将来財政を圧迫すると考えていた。

問 番城グラウンドに何を作って、何が町民の為になるのか、年間の維持が幾ら掛るのか、投資額が幾らなのか何う。

答 (町長) 構想としては有るが、見積もりの段階では無い。

問 町長になられて21億(菊水地区耐震改修費)を提示(3月定例会において)され、その時は8億(実質町負担)で、番城グラウンドに今年度まで10億8千万、既存